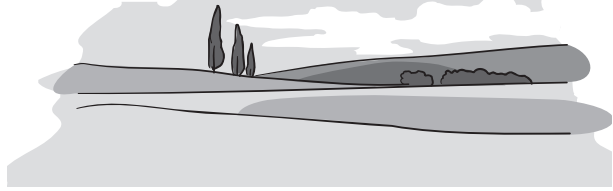


## どこにもない夏の時間



函館市医師会  
函館渡辺病院

水 関 清

朝靄の中、子どもたちが三々五々集まってくる。ラジオとつながりである小さなアンプの電源を入れ、放送の準備をする子。ハンコの入った小箱を、所定の位置に置く子。いつもは校長先生の立つ朝礼台の上で、身体をほぐす子。みんな6年生だった。

スピーカーから、地域の天気予報のニュースが短く流れると、「新しい朝が来た。希望の朝だ…」ではじまる、おなじみの歌が流れる。「ラジオ体操の歌」、昭和の香り漂うメロディーに、半世紀も前の夏休みのことが思い出される。

「ラジオ体操第一。腕は前から上にあげて大きく背伸びの運動。一、二、三、四…」

よどみないラジオからの声に合わせて、朝礼台の上で模範演技をする子は、左右反対の腕の振りをはじめ。低学年の子どもたちに、見よう見まねで体操を覚えてもらうための、鏡体操(?)。6年生にとっては、夏休み前に受けた特訓の成果の見せ処でもあった。最後の深呼吸で体操を終えると、競って朝礼台の前に集まる。ヒモで首からぶら下げたカードに、ハンコを押してもらおう。押すのはもちろん6年生。押されたハンコの数が増えて空欄が減っていき、夏休みが終わる頃には、皆勤賞の鉛筆や消しゴムをもらう。

低学年のうち、ただ並んでハンコを押してもらって家に帰るだけだったが、中学年になると、いろいろなことに気付くようになった。ハンコの押し方は、人それぞれであること。シャチハタ印のない当時のこと、その都度きちんと印肉をつけて空欄に収まるように押す子もいれば、空欄から少々はみ出そうだが、かすれた印影であろうが、かまわず押す別の子もいた。遅刻者の扱ひもさまざまだった。少々の遅刻は黙認してハンコをくれる子もいれば、それを許さず断固として押さない子もいた。

意外だったのは、黙認派が指揮を執る朝の遅刻率が必ずしも高くはなかったことである。おおらかな時代であった。淡々と続く夏休みの日々に、たまさか訪れるハレの日。楽しい夜は早く更ける。朝のラジオ体操に遅刻してハンコをもらえなかった悔し涙は、帰り道での蝉しぐれの中にたちまち紛れ込んでいったものである。

ハンコを押す空欄が並ぶカードの裏側には、ラジオ体操をするキャラクターの姿と、郵便局またはNHKのロゴが入っていたように思う。それもそのは

ず、ラジオ体操の歴史は1928(昭和3)年に、当時の逓信省簡易保険局(現・かんぽ生命保険)が呼びかけた「国民保健体操」が始まりという。戦後は一時途絶えたが、曲折を経て1951(昭和26)年に復活し、1953(昭和28)年から始まった「夏期巡回ラジオ体操」は、夏の風物詩として津々浦々の町々にまで浸透した。

ラジオ体操には、学校に行っている期間に体感できない、特別な時間が流れていたように思う。寝ぼけ眼をこすりながら会場へと向かう慌しさと、うって変わった帰り道の清々しさ。放送の準備をし、ハンコを押し、模範演技の鏡体操をする6年生の姿への憧れと、自分もいつかはそうなれるのだという、身をもって示された成長に対する深い信頼感。ハンコの押し方や遅刻者の取扱いで実見した、人それぞれのあり方の不思議さ。ラジオ体操と朝食の間に新しく生まれた時間を有効活用した時の喜びと、帰って二度寝した時の決まりの悪さと、どこか楽しかった浅い眠りの時間。いつも母親が早起きして、家族のために働いていた時間を実見することから生まれる感謝の気持ち。そして、目覚めの朝に降る雨音を聞いて、「小雨決行・雨天中止」というラジオ体操ルールに感謝しながら、公認の朝寝坊をした朝の、楽しい目覚め。

私たちの世代がそんな貴重な体験をさせてもらった朝のラジオ体操であるが、その機会は近年急減し、土日休みで期間は7月いっぱいまで、前で模範演技をしたり、放送の準備やハンコ押しをする運営の役目も、児童から保護者になりつつあるという。

「ラジオ体操」の風化現象を前にして、新しい動きも見られる。

「いっず、ぬー、さん、すうっ！」あのラジオ体操第一のメロディーに石巻弁の掛け声。

「ソデは メーガラ上サアゲデ、オグク背伸びッコ、スッベシ。(蛇足ながら意味は、腕は前から上にあげて大きく背伸びの運動)」と続く。

笑いと体力が復興には必要、との信念のもと、石巻で始められた「おらほのラジオ体操」プロジェクトである。日本全国で同じ時間に同じことをしようとするラジオ体操に、方言での掛け声を組み込むだけで誘われる自然な笑いと、そこから生まれてくる豊かな地域色。調べてみると、お国ことば版・ラジオ体操には、「ラジオ体操第一、津軽三味線伴奏つき津軽弁」「ラジオ体操第一、山形弁」「同、名古屋弁」「同、鹿児島弁」「奄美口、ラジオ体操」などがあり、すでに多士済々の観がある。

2015年夏で米寿を迎えるラジオ体操。起きる時間は同じでも、耳にする掛け声は、全国各地のお国ことば。「おらほのラジオ体操」には、以下の但し書きがついている。

効能効果：ココロを温める、キズナを深める、カラダを整える効果。